

Vol.19(2021) No.13(06/24)L10

ChAdOx1 nCoV-19 ワクチン接種後の血栓症の原因となる抗 PF4 抗体の産生

[Pathologic Antibodies to Platelet Factor 4 after ChAdOx1 nCoV-19 Vaccination](#)

Scully M, Singh D, Lown R, et al.

【N Engl J Med. 2021 Jun 10;384(23):2202-2211】-peer reviewed(査読済み)

(抜粋・要約)

◇方 法

ChAdOx1 nCoV-19ワクチン(アストラゼネカ社)の初回接種から6～24日後に血栓症と血小板減少症を呈した患者23例の所見を報告する。本研究では、症例の臨床上および検査値上の特徴にもとづいて、根底にある新奇メカニズムを特定し、治療上の意義を考察した。

◇結 果

血栓形成促進性疾患の既往のない患者22人が急性血小板減少症および血栓症、主に大脳静脈血栓症を呈し、1人の患者が孤発性の血小板減少症および出血傾向を呈した。すべての患者は、症状発現時にフィブリノーゲン値は低いかまたは正常で、d-ダイマー値は上昇していた。血栓性素因または引き金となる事象はみとめられなかった。血小板第4因子(PF4)に対する抗体検査で、患者21人が陽性(うち1人は偽陽性)、1人が陰性であった。これらの患者で観察された病態生理学的特徴にもとづき、血栓症状の進行リスクを考慮して血小板輸血による治療を避けるべきであり、これらの症状の初発時には、非ヘパリン抗凝固薬の投与と免疫グロブリン静注を検討することを推奨する。

◇結 論

SARS-CoV-2に対するワクチン接種は、COVID-19パンデミックの制御にとって依然として重要である。ヘパリン使用に関連しない病的PF4依存性症候群が、ChAdOx1 nCoV-19ワクチンの接種後に発生する可能性がある。このまれな症候群の迅速な特定が、治療上非常に重要である。